

## 令和2年度 札幌地区中学生バドミントン団体交流大会開催要項

1. 主 催 札幌地区バドミントン協会
2. 主 管 札幌地区バドミントン協会中学運営委員会

**本大会は(公財)日本バドミントン協会をはじめ、関係する各団体が定めた新型コロナウイルス感染症防止のためのガイドラインに沿って運営をする。**

3. 期日・会場 令和3年2月23日(水) 開場 8:45 試合開始 9:00  
西区体育館 札幌市西区発寒5条8丁目9-1 TEL011-662-2149  
  
令和3年2月27日(土) 開場 8:45 試合開始 9:00  
厚別区体育館 札幌市厚別区厚別中央2条5丁目1-20 TEL011-892-0362
4. 種 目 男子団体戦、女子団体戦の2種目
5. 競技規則 現行の(公財)日本バドミントン協会競技規則、大会運営規程、並びに公認審判員規程による。
6. 競技方法 複1-単1複2の順に行う団体対抗戦。複と単を兼ねて出場できない。  
・トーナメント戦、またはグループリーグ交流戦のどちらかで行う。  
どちらで行うかは、出場数によって決定する。  
**大会特別ルールで勝敗を決めることとする。(別紙1、2を参照)**  
・**すべての試合 15点3ゲームマッチ(14-14になってもあと1点、延長ゲームなし)**
7. 使用器具 令和2年度(公財)日本バドミントン協会検定合格器具を使用する。  
使用球は第2種検定合格球(水鳥球)とする。
8. 参加資格 および参加割当  
・令和2年度札幌地区バドミントン協会に登録済みの中学1、2年生  
・氏名、学校名がプログラム、ホームページに掲載されることを了承する者。  
・**本年度の特別ルールを了承、理解した学校の選手で、コロナウイルス感染症対策ガイドラインを遵守でき、所属校に保護者参加承諾書を提出し、大会当日、健康調査書を提出した者。**

**● 当日の体調不良者、発熱している者、風邪症状のある者は参加できない。**

- ・札幌地区の1、2年生で、令和2年度札幌市、石狩管内中体連新人戦大会(札幌市地区大会、石狩管内の市大会も含む)で「試合をしていない」者。
- ・令和2年度中体連新人戦の個人戦の出場者、団体戦で試合に出場した経験のある者は参加できないが、以下の者は出場できる。
  - a 団体戦メンバーには登録されたものの、個人戦にも出場せず、団体戦にも試合にもオーダーされず1試合も出場していない者
  - b 新人戦メンバーになっていたが、体調不良等で出場できず1試合もできなかった者
- ☆1校に参加資格者が4名以下の学校で参加希望がある場合は、期日までに参加希望者名簿を提出すれば、大会事務局が合同チームを調整する。  
**参加希望者名簿は申込先に、2月5日(金)必着でメールを送付すること。**

9. 引 率  
・監督(引率者)は、1校2名までとする。  
試合当日の当該校(合同校)生徒の全責任を負え、大会当日健康調査書を提出した、校長・教員、中体連登録された外部指導者とする。  
※今年度に限って、教員、中体連登録された外部指導者以外の引率は不可とする。
10. 団体編成  
・1校男女各1チームとする。  
・大会事務局あっせんの合同チームを除き、単一校で、監督(引率者)1名、選手5~8名で編成すること。  
・負傷、疾病等により選手を変更する場合は、当日の朝、選手変更届を本部に直接渡すこと。  
選手が4名以下になった場合は、原則としてそのチームは試合には出場できない。

11. 参加料 **1チーム 5,000円**  
 ・合同チームは、合同チームで発行するので、学校間で処理すること。
12. 申込要領 ・所定の参加集計、申込用紙データ(excelファイル)に必要な事項を入力(登録ファイルの大会運営用からコピー)の上、下記メールアドレスに期日までに送付すること。

## 必ずファイル名を「交流〇〇中申込」とすること。

札幌市内中学校・・・校務支援メールを使い「発寒中学校 浦 雅之」まで  
 石狩管内中学校、国立学校、私立中学校  
 ・・・・郵送でお送りしてある連絡用メールアドレスまで

申込締切 **令和2年2月12日(金) 12:00 必着**

※手書き、郵送、紙面のみでの申込、申込責任者名、団体戦の監督者名の記入がない場合受け付けない。

13. 当日受付  
 ・参加料を支払う。  
 ・学校長職印が押印されている学校参加同意欄を提出する。  
 (合同チームの場合、すべての学校の分の「学校参加同意書」が必要)  
 ・監督、引率者分の健康調査書を提出する。
- ☆選手の健康調査書は、健康確認を行いながら、体育館入館時に回収する。
14. 組合せ 札幌地区バドミントン協会中学運営委員会に一任する。
15. 表彰 1～3位となったチームに、賞状を授与する。

16. 個人情報の取り扱いについて  
 参加する選手、引率責任者、家庭、学校、団体は、以下を了承すること。  
 ・申込用紙に記載された学校名、氏名(フルネーム)の個人情報は、大会運営に使用し、組合せ、大会結果を札幌バドミントン協会ホームページおよび(株)スポーツハウスホームページに掲載する。  
 ・大会写真を札幌地区バドミントン協会ホームページおよび(株)スポーツハウスホームページに掲載することもある。  
 ・大会結果は新聞社に通知することもある。

17. その他 ①競技中のけがについての応急処置は主催者が行うが、一切の責任は負わない。  
 なお、参加者は各自で傷害保険に加入し、健康保険証を持参すること。
- ②試合時の色付き着衣およびアンダーギアは、令和2年度(公財)日本バドミントン協会審査合格品とする。ただし、学校指定の体育着(Tシャツ・短パン)はその限りではない。  
 背面には学校名と名前を明記したゼッケン(縦15～20cm, 横30cm)をつける。  
 シャツは、丈が短いレディス・タイプであっても、パンツ、または、スカートの中にしまえる丈の長さであれば、必ずしまってプレーすること。
- ③監督・コーチ・マネージャー他、ベンチに入る者は、マッチ(試合)にふさわしい服装、態度で臨むこと。シャツ・ポロシャツ・ブラウス、ズボンまたはスカートとし、ジーンズやビーチスタイル、パミュダ、ショーツ、スリッパとサンダルは禁止する。
- ④参加校は、大会会場である学校体育館、公共施設体育館の「利用上の連絡、注意」を理解し、遵守すること。**とくに駐車場利用について協力は参加校の義務とする。**引率者は遵守すること。
- ⑤参加申込書に氏名のない引率者、選手以外の方の会場内の立ち入りは、コロナウィルス感染症対策、会場の密状態を避けるために、送り迎え等も含めて、例外なくお断りいたします。体調不良者のお迎え以外の物品受け渡し等は、引率者と連絡を取り合い会場外でお願いします。
- ⑥大会情報は、結果も含めて、すべて下記札幌地区バドミントン協会ホームページに公開、掲載するので、参加校は必ず閲覧、確認の上参加すること。

札幌地区バドミントン協会ホームページ URL : <http://www.sapporo-badminton.com/>

- ⑦この大会についての問い合わせは、札幌地区バドミントン協会「発寒中学校 浦 雅之」まで電話、FAX、校務支援メール、郵送でお送りしてある連絡用メールアドレスまで行うこと。  
 (勤務先：発寒中学校) 電話：011-661-0412 FAX：011-661-3763

札幌地区中学生バドミントン団体交流大会  
**令和 2 年度 大会特別ルール**

2021. 1. 30

出場校、各チームは、この大会特別ルールを大会前日までに熟読し、徹底してください。  
 このルールによる試合進行が控え選手を含めた全選手の試合時間を確保することになります。

## 1. 特別ルール概要

### 1 対戦を 90 分限定とし、タイムテーブルに記された開始時間から開始し、終了時間に終了し、延長はしない。

- ・各チームは学校に関係なく、タイムテーブルに記されたチームの集合時間に会場に入場する。
- ・勝ったチームは、連続で試合をするようにタイムテーブルを調整し、「待機時間」が発生しないようにする。
- ・負けたチームは、例外なく帰宅する。(リーグ戦の場合、待機もあり得る。)
- ・90分タイム計測は、全コート同時に行う。オーダー用紙提出遅れなどで試合時間を減少させて対応する。
- ・事前準備、迅速な動きを心がけること。
- ・感染症対策、気象条件、交通障害などによるトラブルには対応するが、「対戦をすべて1ゲームで行う」などの変更を行うこともあるので、あらかじめ了承すること。

あいさつ→じゃんけん→練習、手洗い→第1複→単→第2複→ 控え選手戦  
交流戦 →あいさつ→勝ち～次コート  
負け～帰宅  
(待機)

の順で行う。

(各校 3分ずつ)

## 2. 勝敗の決定と残った時間の使い方

### (1) 80分以内で、第2ダブルスまで終了した場合

- ・80分以内で、第2ダブルスまで終了した場合、控え選手戦(勝ち、負けチーム問わず)を行って良い。
- ・もちろん、80分以内で第2ダブルスまで終了し、そのまま終了しても良い。原則、控え場所はないので、勝ちチームは勝ったコートで次の試合まで待機する(自校のみの練習はできない)。
- ・控え選手戦が終わっても10分以上時間が残っていたら、交流戦を行っても良い。
- ・控え選手戦、交流戦の実施の可否、シングルスを行うか、ダブルスを行うか、何マッチ行うか、点数、ゲーム数等は、両校監督の協議で決定する。
- ・自チームが控え選手戦、交流戦の希望がなくとも、相手チームが希望した場合は、希望するチームに応じる。5人で編成したチームでも、一度試合した選手が相手控え選手と試合をすること。
- ・控え選手戦、交流戦に出場した選手の疲労等については、勝ちチームに対しての考慮はしないので、あらかじめ了承すること。
- ・控え選手戦、交流戦の戦績は、対戦成績に一切反映させないこと。
- ・控え選手戦、交流戦を行った学校は、90分のタイム計測ブザーが鳴る前に、最後のあいさつ済ませておくこと。
- ・勝ったチームは、次の試合をするコートに移動。負けたチームは、速やかに帰宅(待機)する。

### (2) 90分で、第2ダブルスが終わらなかった場合

①残り5分を切った段階で、第2ダブルスの試合が開始できなかった場合。

2-0なら、第2ダブルス打ち切り、控え選手戦は行わない。

1-1なら、第1ダブルス、シングルの ①得失ゲーム差 ②得失点差 ①②も同点の場合、抽選とする

②2-0で、残り5分を切った段階で、第2ダブルスの試合を行っていた場合、第2ダブルスは打ち切り、控え選手戦は行わない。

③1-1で、残り5分を切った段階で、第2ダブルスの試合を行っていた場合、以下の状況で勝敗を決定する。

- 第1ゲーム途中 時間内に第1ゲームが終了なら、第2ゲームを開始せず、第1ゲーム勝利チームを勝ちとする。第1ゲームが終了していなかったら、ブザーが鳴ったラリーも続行、その時点での点数を多くとっていたチームを勝ちとする。同点の場合、決勝ラリーを行い、そのラリーに勝ったチームを勝ちとする。
- 第1ゲーム終了 第1ゲームで終了させる選択権を第1ゲーム勝ちチームに与える。  
(第2ゲームを開始しても良いが、第2ゲーム途中の得点は勝敗に反映させない)
- 第2ゲーム途中 ブザーが鳴ったラリーは打ち切り、第1ゲーム勝利チームを勝ちとする。
- 第2ゲーム終了 第3ゲームを開始する。勝敗の決定は「第3ゲーム途中」へ。
- 残り2分以内で、第2ゲームが終了 第3ゲームを開始せず、第1、第2ゲームの得失点差で勝利チームを決定する。
- 第3ゲーム途中 ブザーが鳴ったラリーは打ち切り、第1、第2、第3ゲームの得失点差で勝利チームを決定する。

### **3. 監督会議について**

- ・当日に監督会議は行わない。ホームページに記載される書面を確認する。
- ・質問等は、開催要項 18. その他 ⑦ を参照のこと。

### **4. オーダー用紙について**

- ・オーダー用紙は、当日配布はしない。ホームページに掲載したPDFから「GI」のオーダー用紙をカラー印刷し、予備分も含めて各チーム事前に複数枚準備しておくこと。
- ・各校、全チームの第1試合の入場時間に健康調査書と同時に回収するので、事前に準備をしておくこと。
- ・勝ちチームのオーダー用紙は、時間内でも2-0になった時点で速やかに提出する。
- ・時間ぎりぎりの場合でも、次の90分のタイム計測は待たずにスタートするので、勝利が決まる前から準備しておき、勝敗決定後に速やかに提出すること。
- ・提出が遅れた場合でも、90分のタイム計測はスタートするので、試合開始が5分遅れた場合は、練習なしで試合を開始することになるので、特に注意すること。

### **5. チームの動きの流れ** ～ 参加選手、引率者は確認の上、行動してください。

- ①入場時間に会場に入る（タイムテーブル2サイクル目以降は、待機場所で待機する）。  
会場には早く来すぎない、会場前で待つときは、マスクをつけて密にならないように待つこと。
- ※ 健康調査書を提出する（忘れた場合は、会場に入れない、本選では特に注意する）。
  - ※ 本選では、オーダー用紙も提出する。事前に監督署名をもらっておく。
- ②会場に入ったら、体育館の試合コートに真っ直ぐ向かう。荷物、私物はベンチに整頓して置く。  
（タイムテーブル2サイクル目以降は、指示があったら、待機場所から会場に入る）
- ③荷物、私物を置いたら「あいさつ」をし、
- チームキャプテンがジャンケンをして、勝ったチームが 先練習3分、シングルの主審  
負けたチームが 先練習3分、第1ダブルスの主審 を行う。  
第2ダブルス主審は、シングルス敗戦校が行う。  
控え選手戦、交流戦の主審は、両校に任せる。
- 練習時間計測は、相手チームキャプテンがストップウォッチで行う。
- ☆90分のタイム計測は、これらを待たずにスタートするので、チームで協力し速やかに行う。  
すべてが整ったら、90分タイム計測前のスタートは構わない。
- ④すべてが終了したら、「あいさつ」をし、勝ったチームは、次の試合をするコートに移動。  
負けたチームは、速やかに帰宅（待機）する。

### **6. 競技規則の遵守について**

以上の特別ルールのため、特に以下の競技規則に抵触がうたがわれる場合、主審だけではなく競技役員長、および地区主任より注意、警告を行うことがあるので、あらかじめ了承すること。

- 第16条第4項1 プレーヤーはどんなことがあっても、体力や息切れを回復できるように、または、アドバイスを受けるためにプレーを遅らせてはならない。
- 第16条第5項2 プレーヤーは本条第2項のインターバルを除き、マッチ（試合）中、主審の許可なしにコートから離れてはならない。
- 第16条第6項 プレーを故意に遅らせたり中断したりすること。